

その他の設定(ユーザー管理)

その他を設定するには、次のいずれかの役職が必要です。

- ユーザー管理者
- 一般システム管理者

ネットワークゾーンを持つ中央オフィスのネットワークゾーンダッシュボードの、[設定]メニュー>[ユーザー管理]>[一般]>[その他の設定]にある[顧客パラメータマッピングテーブル]で、さまざまなユーザー管理顧客パラメータを設定します（「[コンソシアムセントラル設定ダッシュボード](#)」を参照）。マッピングテーブルの詳細については、[マッピングテーブル](#)を参照してください。

| parameter key | parameter module | parameter value | free text description | Updated By | Last Updated |
|-----------------------------|------------------|--------------------------|--------------------------|------------|--------------|
| 1 address_line1_regex | user_management | | | - | - |
| 2 address_line2_regex | user_management | | | - | - |
| 3 address_line3_regex | user_management | | | - | - |
| 4 address_line4_regex | user_management | | | - | - |
| 5 address_line5_regex | user_management | | | - | - |
| 6 check_for_expired_account | user_management | false | Expire user roles when l | - | - |
| 7 days_password_change | user_management | 999 | Number of days from lau | ex_impl | 2015/09/17 |
| 8 email_regex | user_management | ^(?!(0-9a-zA-Z [-.\w])@- | must have a valid form | - | - |

顧客パラメータのマッピングテーブルページ(その他の設定)

このページで設定できるパラメータを、次のテーブルで説明します。

ユーザー管理設定パラメータ

| パラメータキー | 説明 |
|---|---|
| address_lineX_regex(1行目から5行目) | ユーザーの町名・番地などの1~5行目の有効なフォーマット。「 ユーザーのコンタクト情報の追加 」を参照してください。 |
| add_token_to_prevent_saml_replay_attack | SAML リプレイ攻撃を防止する。 true に設定した場合、Alma または Primo によって開始され、IdP を介してリダイレクトされる SAML ログインフローは、リプレイ攻撃から保護されます。 |
| allow_exl_to_login_as_staff_users | ユーザーレコードに「Ex Libris の模擬ログインを許可する」チェックボックスを追加します（ ユーザーの管理 参照）。 |
| ブロックユーザー作成 | Esploroのお客様のみ - 参照 追加の設定 。 |

| パラメータキ ー | 説明 |
|---|---|
| マルチ_スレ ッド | |
| 集中ユーザー 管理実行タス クチェーン検 証 | Esploroのお客様のみ - 参照 追加の設定 。 |
| check_for_ expired_ account | <p>期限切れのユーザーからのユーザーリクエストやリソースシェアリクエストを避けるには、[True]に設定します。Primoではすべてのリクエストオプションが表示されるわけではありません。Almaではリクエストはブロックされます。リソースシェアリクエストに対して、上書きの警告が表示されます。</p> <p>パラメータはデフォルトで[False]に設定されており、期限切れのユーザーからのユーザーリクエストやリソースシェアリクエストも許可されます。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>このパラメーターは、check_for_expired_account が true に設定されている場合でも、利用者が購入リクエストを行うことを妨げません。</p> <hr/> |
| disable_from_ address | <p>from_addressの値を設定した際に、[From:]アドレスフィールドを無効にするためには、[True]に設定します(以下参照)。これにより、ユーザーアカウントで [メッセージの送信] > [一般メール] オプションを使用する際、from_address で設定されたEメールアドレスの代わりに、ユーザーが自分のEメールアドレスを入力することを回避します。「ユーザーの編集」を参照してください。</p> |
| distribute_ user_ management_ changes_ last_run | <p>ネットワークユーザー管理の変更をメンバーに配信ジョブの実行が最後に成功した日付です。「ネットワークゾーンの設定の一元管理」を参照してください。</p> |
| email_regex | <p>有効なEメールフォーマット。「ユーザーのコンタクト情報の追加」を参照してください。</p> |
| email_regex_ display | <p>email_regexが定義されている場合に、Eメールアドレスを入力する際に表示されるメッセージです。</p> |
| external_ users_with_ internal_auth | <p>Student Information System (SIS) が認証サービスを提供していない教育機関の場合、Almaで外部ユーザーとしてユーザーを作成し、Almaで直接パスワードを割り当てることができるようになりました。この場合、名前、IDなどのすべてのユーザー情報はSISから管理されますが、パスワードはAlmaに保存され、Ex Libris Identity Serviceによって管理されます。</p> <p>この動作が有効になっている場合、ユーザーを外部から内部に（またはその逆に）変更しても、ユーザーパスワードはリセットされません。ユーザーが外部ユーザーとして使用した既存のパスワードは保持されます。</p> <p>ユーザー登録 と ユーザーアカウントの他システムへのマッピングを参照してください。</p> |
| from_address | <p>ユーザーの編集集中に送信できる一般メッセージのFrom:アドレスとしてデフォルトで使用される値です ([ユーザー詳細] > [一般情報] > [メッセージを送信する])。「ユーザーの編集」を参照してください。また、上記のdisable_from_addressも参照してください。</p> |
| fulfillment_ network_ search_by_all | <p>IDを入手できないユーザーのために、フルフィルメントネットワークでウォークインサービスを有効にするかどうかを示します。このパラメータは、ユーザーがすでに登録されている機関で有効にする必要があります。</p> <p>有効な検索条件には、姓、名、またはEメールアドレスが含まれます。検索は完全に一致する必要があります。検索の結果</p> |

| パラメータキ ー | 説明 |
|--|--|
| | が複数の場合、エラーが返されます。 |
| ライブラリス コープによる ユーザー検索 の制限 | true に設定すると、ユーザーがライブラリの範囲内で利用者ロールを持ち、検索スタッフが同じライブラリ範囲内で検索権限を持つロールを持っている場合にのみ、ユーザー アカウントが検索結果に取得されます。デフォルトは[False]です。 |
| network_ users_ unique_ identifiers | フルフィルメントネットワークが一意のユーザー識別子を使用するかどうか： <ul style="list-style-type: none"> • FULL - 識別子はフルフィルメントネットワークのすべてのメンバーで一意であり、重複されません。[ユーザーサービスの管理]で、[すべてのネットワーク機関でユーザーを検索]チェックボックスをオンにすると、Almaは最初にローカル機関でIDを検索し、見つからない場合は他のすべての参加機関でIDを検索します。Almaは、任意のネットワーク機関でユーザーレコードを自動的に検索し、その情報をその機関から取得します。このオプションを選択する場合、[すべてのネットワーク機関でユーザーを検索する]チェックボックスは、ネットワーク全体で一意のユーザーIDを検索する場合にのみ選択する必要があります。 • NONE - 識別子は一意ではありません。これがデフォルトです。 |
| jwt_ signature_ secret | ソーシャル認証におけるPrimoとAlma間のハンドシェイクに使われます(詳細については、「 ユーザー認証にソーシャルネットワークを使用 」参照)。Primoで設定された値は、ここで定義された値と一致する必要があります。 |
| mfa_for_ alma_hep | Ex Libris アイデンティティサービスのMFA (多要素認証) をアクティブ化します。 <p>可能な値：</p> <ul style="list-style-type: none"> • なし - MFAは非アクティブ化されています (デフォルト) • 提案 - MFAはオプションです • 強制 - MFAは必須です <p>詳細については、多要素認証 をご覧ください。</p> |
| network_ user_profiles_ and_ assignment_ rules_ distribution_ members_ behavior | ネットワークゾーンのレコードを配信する際にメンバーのユーザープロフィールと割り当てルールについて行われる処理を制御します。有効な値は[削除]と[何もしない]です。[削除] は、すべてのローカルレコードを削除します。 None (デフォルト) に設定すると、既存のすべてのレコードは配信前とまったく同じままになります。 |
| phone_regex | 有効な電話番号のフォーマットです。「 ユーザーのコンタクト情報の追加 」を参照してください。 |
| phone_ regex_display | phone_regex が定義されている場合に、電話番号を入力する際表示されるメッセージです。 |
| photo_ identifier_type | 写真の名前の取得元のユーザー識別子のタイプです(photo_server_url とともに使用)。オプションは、 USERNAME (プライマリ識別子)またはユーザー識別子コードです。「 追加のユーザー識別子のタイプの表示 」を参照してください。「 ユーザー画像の管理 」を参照してください。 |

| パラメータキ ー | 説明 |
|--|--|
| photo_server_ url | <p>[ユーザー詳細]ページに表示するユーザーの写真のURLディレクトリです。「ユーザー画像の管理」を参照してください。</p> <hr/> <p>Note</p> <ul style="list-style-type: none"> URLはHTTPSを使用する必要があります。HTTPSを使用する際、自己署名証明書は使えません。既知の認証局の署名が必要です(サポートされている証明書のリストはこちらを参照してください)。 ディレクトリ名はスラッシュ(/)で終わる必要があります。 [ユーザーの詳細]ページで写真を表示するには、ページにアクセスするユーザーもこのURLにアクセスする必要があります。 <hr/> |
| photo_suffix | <p>ユーザーの写真のファイル拡張子(.jpgや.gifなど)。この値が写真のURLに追加されます – この値が定義されていない場合、写真が適切に表示されない場合があります。「ユーザー画像の管理」を参照してください。</p> |
| pin_number_ method | <p>PIN番号生成機能を有効にするには、fourDigit(唯一可能な値)をここで入力します。「ユーザーの追加」の[PIN番号]フィールドを参照してください。</p> |
| postal_code_ regex | <p>郵便番号の有効なフォーマットです。「ユーザーのコンタクト情報の追加」を参照してください。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>デフォルトでは、郵便番号は0~16文字で、入力できるのは数字・大文字・ハイフン・スペースのみです。ピリオドも含めたい場合は、ハイフンの後に\を追加します。例: [A-Z0-9\-\.]{0,16}</p> <hr/> |
| postal_code_ regex_display | <p>postal_code_regexが定義されている場合に、郵便番号を入力する際表示されるメッセージです。</p> |
| preferred_ identifier | <p>識別子を1つだけ表示する際、およびユーザーに従って取置き棚にあるアイテムをスキャンする際に使用する識別子コードを入力します。識別子コードは、[ユーザー識別子の種類]ページにリストが表示されます。詳細については、「追加のユーザー識別子の種類の表示」を参照してください。</p> |
| primary_ identifier_ regex | <p>プライマリ識別子の有効なフォーマットです。プライマリ識別子では英数字がサポートされています。</p> |
| ユーザーノート にプロフィール を表示 | <p>trueに設定すると、ロールプロファイルを使用してアカウントにロールを添付するときに、ユーザーアカウントにメモが追加されます。デフォルトはfalseです。</p> |
| staff_login_ ip_address_ retention | <p>AlmaにログインしたユーザーのパブリックIPアドレスの保持期間。デフォルトの期間は90日ですが、保持を防ぐために0を含む任意の数を指定できます。詳細については、スタッフログインレポートを参照してください。</p> <hr/> <p>Note</p> <p>レポートのデータ保持期間の90日間は変更できますが、最大は90日間です。それより短い日数は有効ですが、長い日数は有効ではありません。</p> <hr/> |

| パラメータキ ー | 説明 |
|---|---|
| url_regex | URLの有効なフォーマットです。前に来るプロトコル、有効なドメイン名(2文字または3文字のTLDで無効な文字がない)、および有効なファイルパスが必要です。 |
| use_pincode_ for_ selfcheck_ machine | PrimoのユーザーがセルフチェックマシンのPINコードを更新できるかどうかを決定します。この設定は、セルフチェック機統合プロファイルで[認証が必要]が[はい]に設定されている場合にのみ関係します。「 セルフチェックマシン 」を参照してください。 |
| user_audit_ retention_ period | 入力した整数は、ユーザー監査証跡レコードが保持される期間を日単位で示します。スペースのデフォルト値は、すべてのレコードが保持されることを意味します。「 ユーザー監査履歴 」を参照してください。 |
| user_restrict_ manage_ roles_by_ scope | 有効にすると、ユーザーマネージャーがアクセス権を持たない図書館のユーザーの役職を追加、削除、または編集することが制限されます (ユーザー役職を管理 を参照)。デフォルトでは、このオプションは有効ではありません。 |